

「監視センサによる沿道斜面の防災管理についての共同研究に関する産学官連携協定」の取組状況の中間報告及び今後の予定について

令和3年5月19日に本市と株式会社ザイマックス、株式会社ザイマックス不動産総合研究所及び兵庫県公立大学法人兵庫県立大学社会情報科学部との間に締結した「監視センサによる沿道斜面の防災管理についての共同研究に関する産学官連携協定」の目的である道路防災管理の精度及び効率性を向上させる取組状況の中間報告と今後の予定を次のとおりお知らせします。

1 共同研究内容

監視センサを構造物（擁壁・基礎・橋台等）、斜面に設置し、傾斜角度、揺れの数値を計測しています。これまでに約60万件の傾斜角度、揺れのデータを取得し、分析を行いました。

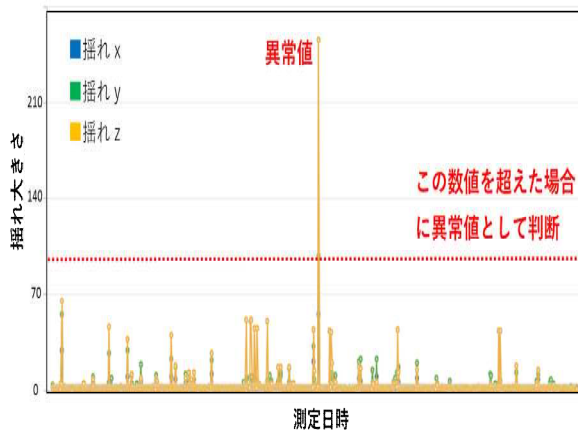


2 分析結果

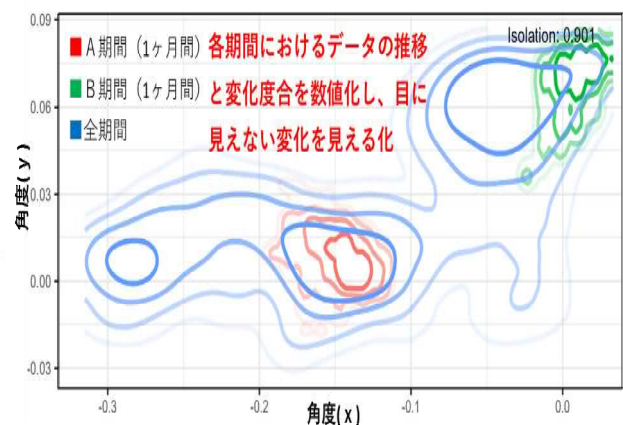
取得したデータから、これまでとは違うデータの動きとみなす指標（短期・長期）を作成しました。

- ・短期指標：蓄積したデータの推移から、データの異常値として判断できる値を設定しました。
- ・長期指標：蓄積したデータの推移とその変化度合を数値化し、日常点検や定期点検など目視では気付けない変化の見える化が可能となりました。

【短期指標】揺れ



【長期指標】角度分布



3 今後の取組予定

監視センサによる取得データに基づき作成した指標に対して、令和6年度末を目途に相模原市道路防災管理への具体的な活用方法を検討します。

問合せ先
都市建設局土木部路政課
直通電話042 (707) 7050